

令和7年度第1回成田市学区審議会 会議概要

1 開催日時

令和7年6月23日（月） 午後2時～午後3時30分

2 開催場所

成田市花崎町760番地
成田市役所3階第二応接室

3 出席者

（委員）

江邨委員、大嶋委員、大徳委員、津守委員、坂内委員、篠塚委員、及び谷崎委員

（事務局）

松島教育部長、高仲教育総務課長、井上学務課長、並川学務課課長補佐、及び米塚学務課管理主事

4 議題

報告第1号 小規模特認校の状況について

報告第2号 指定学校変更・区域外就学の状況について

その他

5 議事(要旨)

報告第1号 小規模特認校の状況について

（要旨）

令和7年5月1日現在、小規模特認校制度による指定学校変更での豊住小学校在籍児童数は14名。令和6年度に実施した学校生活アンケートの結果や小規模特認校説明会での地域の方からの意見等をもとに、豊住小学校の現状について報告した。

大嶋委員：これまでの特認校制度を利用した指定学校変更の状況を教えてください。

事務局：令和3年度は特認校制度が始まった年で、6名が入学している。令和4年度は4名、令和5年度は4名、令和6年度が1名。

大徳委員：遠山小学校は全校児童数が24名で、かなりの小規模になっている。遠山小学校も小規模特認校にすると考えがあるのか。保護者または地域の方からそういう要望は出ているのか。

事務局：保護者の方からの要望はある。しかし、令和13年度までの市役所で出されている推計データでは、遠山小学校は46名になると出ている。現段階では小規模特認校設置は考えていない。

報告第2号 指定学校変更・区域外就学の状況について

(要旨)

現在、成田市全体で、指定学校変更・区域外就学をしている児童生徒数は、合計600名であった。

津守委員：今後、大規模開発による子どもの急激な増加が考えられる。児童数の増加を見込んで学区を変更する等の考えはあるのか。

大徳委員：ニュータウン地区の児童数減少が目立つ。今後、統合等の考えはあるのか。

事務局：学区を変更することは兄弟関係等マイナス面も考えられる。学校施設課が推計を見込んで教室数等にも注視し、工事計画を立てている。教育委員会内で情報を共有し、学区を変えずに対応していきたいと考える。

その他

大徳委員より、養育に関する要件「(1)小学生が下校後の世話をしてくれる祖父母等のもとへ帰宅するため、祖父母の居住地の学校への通学を希望する場合」の区域外就学承諾期間が義務教育学校の児童については前期課程修了までとなっているところを、後期課程修了までとしていただけないか検討してほしいとの意見が挙げられた。

6 傍聴

(1) 傍聴者 0名

7 次回開催日時(予定)

令和7年度第2回学区審議会 令和7年11月上旬開催予定